



## 私のスマイル

- 長原 幹君 立春はまだなのに、昨日は初夏の暖かさでした。
- 和田 三郎君 今日もよいお天気なのでスマイルします。
- 稲葉 邦文君 このところ食い逃げばかりで、本日は終わりまでいれます。
- 仲澤 千尋君 少しあたたかい日が続いて助かります。感謝です。
- 赤淵 浩雄君 息子が務める「LGBT成人式」無事に終了しました。賛助金を頂いた会員の皆様、会場を提供して頂いた高橋社長、中村部長ありがとうございます。

- 小串 民義君 先日、津軽三味線で日本一の吉原高校の牧野君の演奏を聞き感心しました。
- 小山 哲君 きょうは妻の誕生日です。昭和二桁生まれですが詳細は不明です。クラブからきれいなお花をいただきありがとうございました。
- 本多 脩身君 3月の旅行、多数の参加をお願いします。
- 高橋 孝行君 1月とは言え、暖かい日が続きますネ。誕生日お花、ありがとうございます。
- 川村 武君 自分が思っているより身体が反応せず、時々ドジをしているこの頃です。皆様はいかがですか？

## クラブ協議会

# 職業奉仕セミナーに参加して

“職業奉仕についてもう一度考えてみよう”というテーマで駒井英基氏よりお話がありました。約1時間半、休憩なしでの講演で質疑応答を含めると2時間のお話でスライドと手持ちの資料とで解り易く考えのブレがない方の講演かな？と感じました。

講演の要旨は、

- ・ロータリーとは何か？
- ・なぜ職業奉仕が基本と考えられるのか？
- ・職業奉仕と社会奉仕との違いについて
- ・なぜロータリーはI Serveと言われながらWe Serveをしているのか
- ・4つのテストの意味
- ・今後のロータリーはどうあるべきなのか

など、興味深いお話でした。

なかなか新人の私にとっては理解できるような？できないような？言葉の羅列で難しかったです。

ロータリーは人生哲学であるから始まり、ロータリーの二つの基本理念である**職業奉仕**とは“利益の適正配分による事業発展と倫理高揚”、**社会奉仕**とは“弱者に涙する人道主義的活動”であるということから、ライオンズは社会奉仕を主とするクラブであり、ロータリーとは違うということをはっきり区別していました。

ライオンズに関しては、パストガバナーである積氏は職業奉仕が出来ない会員であればライオンズに移って下さいとまで言われていました。

また、“国際ロータリー戦略計画の三大要点”

- ・クラブ活動の原点に立ち返る
- ・効果的な奉仕活動の推進
- ・公共や社会における存在感の高揚

というものが、その中でクラブ活動の原点に立ち返る項目を考えると、ロータリアンの義務として、一つ例会に出席する、二つ会費の納入、三つロータリーの広報誌の購読とありますが、当たり前なことだけでも時間に追われている私たちにとっては難しいところもありますが、努力する必要があると思います。

最後に、ロータリーは職業奉仕を基盤に“人格向上を研鑽する組織”ではあるものの、変えてはならないものがロータリー哲学、ロータリーの奉仕理念、時代と共に変えてよいものがR I ・地区、クラブの管理運営と奉仕活動の実践とありました。

クラブの会員である以上、人に対する思いやりを持って、人のお役に立つことという奉仕の理想という基本理念をもって、皆さまコツコツと邁進して参りましょう！



◀ 斉藤 寛明 会員



◀ 森 美城 会員



◀ 梅谷 明子 会員